

役員会メモ

日 時：平成23年2月9日 午後1時30分から4時30分

場 所：檀原観光会館喫茶

出席者：横尾さん、中垣さん、松本さん、鎌田、（オブサーバ参加）＝澤岡さん、松本さん

議事内容：

1. 平成23年度の活動計画の確認

(ア) 六樹会サロン

- ① 6月末まで、22年度の残りを実施、その後も、PVC六樹会の活動の両輪の一つであり、今年度と同様に継続開催する
- ② 7月以降は、アンケートを取り、会員の希望を入れて別途計画。

(イ) 健やかサロン

各教室の計画は、次の通り

項目	(檀原教室・基礎科)	(宇陀教室・基礎科)	(檀原教室・応用科)
会場	畝傍地区公民館	宇陀商工会館	県社会福祉総合センタ
募集人員	12名	12名	現基礎科生
受講料	800円	800円	700円

(ウ) 総合日程の確認

- ① 平成23年度総会開催 ⇒ 4月13日10時、檀原観光会館
- ② 各会場の確保については、ほぼ年間確保可能
- ③ ただし、6月1日の六樹会&応用科の場所は、未定。（畝傍地区公民館の確保を横尾さんに依頼）

(エ) 募集チラシ

- ① 後援者に宇陀市・宇陀市教育員会を追記
- ② 裏面のカリキュラムについては、削除
- ③ 募集チラシの配布&印刷枚数
 - 会員への配布 ⇒ 2月23日 ⇒ (100枚)
 - 8期生への配布 ⇒ 3月上旬 (2月23日の佐藤さんに依頼) ⇒ (100枚)
 - 社会福祉総合センタ (2月23日の佐藤さんに依頼) ⇒ 30枚
 - 畝傍地区公民館 ⇒ 3月上旬 ⇒ 20枚
 - 宇陀市内 (商工会館、市役所、公民館等) ⇒ 3月上旬 ⇒ 100枚
 - 基礎科受講生 ⇒ 3月2日 ⇒ (50枚)
 - チラシ印刷枚数合計 ⇒ 400枚

2. 健やかサロンの講座の充実

(ア) 講座の進め方、カリキュラム内容

- ① マウスの説明については、1回だけでなく、少しパソコンが分かった時期に再説明がよい
- ② ファイル管理については、なかなか理解されない。何らかの対応が必要

(イ) サブのあり方について

- ① 今年の健やかサロンを見直し、鎌田から、サブの役割について基本的には、「メインと受講生の仲介であり、受講生に無駄な時間を生じさせないために、受講生のパソコン操作を注視するのが基本」との説明。来年度から、サブ（サポータ）の行動は、上記に沿って行うことを確認
- ② サブ（サポータ）の配置については、来年度からは、一定のルール（会員に参加不可能な日の報告をもらい、調整者が各講座のサブ（サポータ）を決める方法など）を定めるとともに、サブ（サポータ）と聴講生とを明確に区別をした講座運営を行う。
- ③ 各区座には、定められたサブ（サポータ）以外にボランティアとして任意の参加は、可能とする。
- ④ 会員の健やかサロンに聴講は、基本的には応用科とする。

3. P V C 六樹会の運営

- ① 今年の運営実態をかんがみ、役員会を中心とした運営に改め、役員を1～2名追加する。
- ② 総会に向けて、会則の見直し作業を行う。

4. 平成22年度の決算

中垣さんから本年度の決算概算の報告がなされ、種々議論の結果、次の通り使用することとした

- ① 講師費用（教材費を含む）を1回1500円とする。
- ② 次年度繰越金を入会金相当とする
- ③ 講座のプリンタ借用費として1台5000円（合計10,000円）を支払う、
- ④ 宇陀教室開設にご尽力頂いた大門さんの御礼訪問の手土産（5000円前後）
（御礼訪問は、横尾さん、松本さんと鎌田の3名とし、事前に松本が手土産の手配をする。）
- ⑤ 総会に昼食代を考慮する
- ⑥ 上記の処理をすると、約20万円の余剰金が発生するが、これを今年度の活動実績に合わせて会員の交通補助費に充てることとする。（会員の中には、よしとしない者もいるが、活動の主旨を説明し、決定に従って受けとって頂く。）

5. 来年度予算関連

来年度の会員の交通補助費等は、1回1500円とする。メインは講師料（教材費を含む）を加算して、1回2500円とする。（財団に提出した収支計画案に準ずる）

6. 平成23年度総会に向けて

- ① 各資料作成等の作業分担は、次の通り。
- ② 平成22年度活動状況 ⇒ 鎌田
- ③ 平成22年度会計報告&会計監査報告 ⇒ 中垣さん
- ④ 平成23年度活動計画 ⇒ 鎌田
- ⑤ 平成23年度予算案 ⇒ 中垣さん
- ⑥ 会則の見直し ⇒ 横尾さん
- ⑦ 役員を選出 ⇒ 横尾さん

以上